



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 心臓血管外科 西田秀史

【研究責任者】

聖路加国際病院 心臓血管外科 西田秀史

冠動脈バイパス術における対角枝および高位側壁枝再建が退院後の疾患再発・追加治療の有無などに及ぼす影響について

1.研究の対象

2003年7月～2023年11月に当院で冠動脈バイパス術手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

狭心症や心筋梗塞治療のために冠動脈バイパス術を必要な場合に施行させていただいております。この際に、冠動脈の主要血管ではない分枝血管にバイパス術を追加すべきかどうかは学会ガイドラインにおいても明記されておらず、医師や施設の経験によって決定されることが現状です。今回、分枝血管にバイパス術を追加したかどうかにより術後の結果が異なるのかどうかを比較検討することが今後の医療の質の改善につながると判断し本研究を開始することといたしました。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年1月22日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 診察券ID、性別、年齢、病歴、手術詳細、術後撮影したCTの画像データ、カテーテルデータ、退院後の経過等